

蒼穹NEWS No.7

駅伝展望号

平成 14 年 11 月 10 日発行



五区出走予定の西村好康(左から3人目)と六区出走予定の西村重行(左から4人目)

目次

- 関西学生駅伝への展望
- 京都大学のメンバー紹介
- 関西学生駅伝大会の概要
- 関西学生駅伝コースマップ
- 京阪神三大学新人戦の結果
- 個人戦・記録会の結果

関西学生駅伝への展望

今年も関西学生駅伝の季節がやってまいりました。晩秋の丹後路を各大学8人の選手が襷をつなぎ、争うわけですが、わが京都大学のここ数年の成績は、芳しくありません。上位10校に与えられる全日本大学駅伝予選会の出場権を獲得できないばかりか、昨年はシード権をも失ってしまいました。

しかし、敗戦を通じ、得るものもありました。個々人の意識は向上し、部内での競争も激しくなりました。夏の予選会では他校を圧倒し、無事1位で通過しました。エース西村好康を軸に他校と闘えるチームを作ることができたと自負しております。

メンバーの半数以上が昨年の経験者であることも強みです。今年からシード枠が2校減り、13校になりますが、十分対応していけると思われます。

OB、OGの皆様方には日ごろより暖かいご支援を頂き、部員一同非常に感謝しております。本大会におきまして、シード獲得はいうまでもなく、すこしでも上位に食い込めるよう一丸となって臨みますので、変わらぬご支援とご声援をよろしくお願い申し上げます。

平成14年度長距離班班長

西村 重行

一区 8.3km 山崎圭介 (農・4・岡山一宮)

流れを作る大事な一区。ここを務めるのは四回生の山崎。3000m障害を専門種目としているが、今季は5000mでは納得のいく記録が残せていなかった。しかし、これまで大舞台など狙ったレースではきっちりと結果を出してきた山崎である。一ヶ月前に行われた部内選考会においても他を寄せ付けない強さで見事に2年連続のトップ通過を果たした。

この区間、京大はここ3年、6番手、9番手、10番手でたすきを繋いでいる。例年、後半に熾烈なスパート合戦が繰り広げられる傾向にある一区だが、山崎ならこれにも十分に対応できるのではないだろうか。以降の区間を走る者のためにぜひともいい位置で来てもらいたい。

二区 5.8km 佐藤章徳 (工・3・茨木)

二区を走るのは三回生の佐藤。一区の山崎と同様に3000m障害を専門としており、同種目では今年、関西インカレ二連覇を果たすなど無類の強さを誇っている。一、二回生のころは長い距離に対する不安を抱えていたようだが、最近ではそのような不安を克服しつつあり、5000mでも好記録を連発している。

一区の走者がほぼ団子状態でやってくるのに加え、5.8kmと最短区間であることから、抜きつ抜かれつ、あわただしく順位が入れ替わることが予想されるこの区間である。まさしく佐藤のようなスピードランナーが適任であろう。佐藤なら必ずや順位を押し上げてくれるに違いない。

三区 10.4km 松本隆平 (農・M2・桐蔭)

三区は松本が務める。院生である松本は忙しい合間を縫って着実に練習を積むとともに、チームの支えにもなってきた。九月に長居で行われた本大会の予選会では七区で見事に区間賞の走りをして京大の予選トップ通過に大きく貢献するなど、ロードでの強さと安定感には定評がある。また、学部生時代には本大会を2度、選手として走っているため経験面では申し分ないだろう。

この区間は前半に坂を上って下るほかは平坦な道が続き、他区間と比べてアップダウンが少なめである。選手に要求されるのは集中力と安定したペース感覚。今季はこの駅伝だけを見据えてきたという松本である。是非ともいぶし銀の走りで期待に応えてもらいたい。

四区 9.9km 宮木貴志 (農・1・明和)

強豪の集う四区。走るのは今回唯一の一回生となる宮木。しかし、前を走る者に食らいついて離れるまいとする積極性は上回生に勝るとも劣らない。選考会では四回生の山崎に次ぐ好記録で見事にメンバー入りした。練習でも十分に走れており、本人も一回生であるがゆえのプレッシャーは感じていないことだろう。

とにかくアップダウンが多く、選手の実力が如実に反映されるのがこの四区である。まさしく難コースと呼ぶに値する。そのため各校とも上位の選手を投入してくることが予想される。しかし、宮木なら持ち前の粘り強さと根性を発揮して他選手とも対等に闘ってくれるに違いない。

五区 13.0km 西村好康 (工・2・洛星)

五区を務めるのは二回生の西村(好)。今季は関西インカレにおいて1500mからハーフマラソンにいたるまで大活躍した。その後に調子をくずして七大戦は本意な成績に終わったものの、先日の東大戦では1500mと5000mの二冠を達成しており、その実力は誰もが知るところ。一回生時には一区で快走をしているので今回も期待が持てそう。

五区は最長区間であることからエース区間と言って差し支えない。ここで好走できれば後を走る者にも勢いが加わるのではないだろうか。六区との中継所ではトップから遅れること10分で繰り上げスタートが行われる。昨年は無念にもここでたすきが途絶えてしまったが今年は何としてもつないでもらいたい。

六区 12.4km 西村 重行 (経済・4・西南学院)

六区は四回生の西村(重)。長距離パートのチーフである西村(重)はその高い意識でチームをまとめ上げてきた。競技面でも七大戦の5000mにおける快走が記憶に新しい。また、一回生のころから選手として走っており、今回で四年連続四度目の出場となる。過去三年とも安定して実力を発揮しているように、本人もロードには絶対の自信を持っている。

ここは五区に次いで二番目に長い区間であるが西村(重)のこと、距離に関する心配は無用であろう。そして彼の駅伝にかける情熱は誰よりも熱い。四年間の集大成となるこの駅伝。きっとその熱い情熱を丹後路にぶつけて後半の流れを作り出してくれるに違いない。

七区 11.0km 山中 邦夫 (工・4・清風)

去年よりやや距離が伸びたこの七区。走るのは四回生の山中である。今季の山中は春先、次々と自己ベストを更新するなど絶好調であったが夏ごろには院試を控えていたこともあって本人は満足のいく結果は出せていなかったようである。それでも無事に院試を終えた後は急速に体調を戻し、選考会でも無難な走りで順当にメンバー入りを果たした。

上述のとおり、この区間の距離は昨年(9.4km)よりも長くなっている。しかし、山中は昨年も七区を走っており、先日の試走でも好記録を出しているため、かなり期待が持てそうだ。来年は東大の院に進むことが決定している山中が丹後を走るのはいよいよ最後。狙うは区間一桁順位である。

八区 8.6km 渡辺 敬宏 (工・2・倉敷南)

本来この最終区間は三回生の背戸が走る予定であったが本人の体調不良のため、二回生の渡辺が走ることとなった。今季、渡辺は夏に入ってから思うような記録が出せていなかったが秋になると徐々に復活してきた。また、去年もこの区間を走っていることから、選手変更にも戸惑わず背戸の代役をきっちり果たしてくれるだろう。

八区は七区で距離が伸びた分だけ短くなった。ここでもトップから10分遅れで繰り上げスタートが行われるが、例年、京産大が抜きん出ているためにこの繰り上げを免れるのはかなり厳しいと思われる。ゴールは天橋立。苦渋の決断で選手変更を申し出た背戸の分まで、そして京大の最終走者として精一杯頑張ってもらいたい。

正選手・補欠選手の過去1年間の最高記録と選考会(約9.8km)の成績

1	山崎 圭介	農4	15'34"5(5000m)	9'33"92(3000mSC)	1位(31.02)
2	佐藤 章徳	工3	15'30"83(5000m)	9'10"58(3000mSC)	3位(31.35)
3	松本 隆平	農M2	16'12"26(5000m)		5位(31.49)
4	宮木 貴志	農1	15'59"59(5000m)		2位(31.30)
5	西村 好康	工2	14'51"7(5000m)	30'58"72(10000m)	シード
6	西村 重行	経4	15'19"29(5000m)	32'21"81(10000m)	シード
7	山中 邦夫	工4	15'59"93(5000m)	33'33"32(10000m)	4位(31.39)
8	渡辺 敬宏	工2	16'04"0(5000m)		7位(32.05)
補欠	背戸 和寿	工3	16'19"9(5000m)	1° 13'10"(ハ-アラソ)	6位(32.00)
補欠	田中 斉太郎	総2	16'00"15(5000m)	33'48"39(10000m)	8位(32.06)
補欠	大崎 友数	経2	16'26"37(5000m)	9'56"98(3000mSC)	9位(32.07)
補欠	内田 翔	工1	16'32"06(5000m)		10位(32.58)

関西学生駅伝大会の概要

第 64 回 関西学生対校駅伝競走大会

平成 14 年 11 月 17 日 (日) 午前 8 時 25 分スタート

区間	トップ通過 予想時間	コース	距離
1		浜公園 久美浜 C.C.前 旧久美浜臨海学校前	8.3km
2	8 時 50 分	旧久美浜臨海学校前 橘小学校・中学校前 K T R 木津温泉駅前	5.8km
3	9 時 9 分	K T R 木津温泉駅前 (国道 178 号線) 福田川 八丁浜シーサイドパーク前	10.4km
4	9 時 38 分	八丁浜シーサイドパーク前 (国道 178 号線) 掛津 三津集落 砂方 新聞人トンネル前 商業活性化センター大漁前	9.9km
5	10 時 8 分	商業活性化センター大漁前 丹後町役場前 間人中学校前 (国道 482 号線) 黒部小学校前 丹後農業研究所前 和田野橋 弥栄町役場前	13.0km
6	10 時 47 分	弥栄町役場前 矢田橋 丹波小学校前 峰山町農協前 京都銀行峰山支店前 口大野大宮町社会体育館前	12.4km
7	11 時 24 分	大宮町社会体育館前 上三重 (国道 312 号線) K T R 野田川駅前 岩滝町公民館 石田分館前 岩滝小学校前	11.0km
8	11 時 57 分	岩滝小学校前 橋立ベイホテル 岩滝変電所 (府道 53 号線) (橋) 与謝の海養護学校下 国分公民館前 府中小学校前 天橋立 大天橋	8.6km

全行程 79.4 km

コースは次頁の地図参照

注) 第三・第五・第七中継所において、先頭より 10 分以上遅れたチームを対象に、繰上げ出発が行われる。

出場大学 全 20 校

京都産業大 (京産大)

甲南大 (甲南大)

関西大 (関西大)

神戸学院大 (神院大)

立命館大 (立命大)

大阪市立大 (大市大)

近畿大 (近畿大)

大阪産業大 (大産大)

奈良産業大 (奈産大)

神戸大 (神戸大)

大阪体育大 (大体大)

京都大 (京都大)

龍谷大 (龍谷大)

佛教大 (佛教大)

関西学院大 (関学大)

関西外国語大 (関外大)

大阪経済大 (大経大)

大阪教育大 (大教大)

大阪学院大 (大院大)

天理大 (天理大)

～ は 63 回大会での着順 ～ は予選会での着順によっている。

なお、今 64 回大会で 13 位以内の大学は、65 回大会への出場資格を自動的に得る。

関西学生駅伝コースマップ

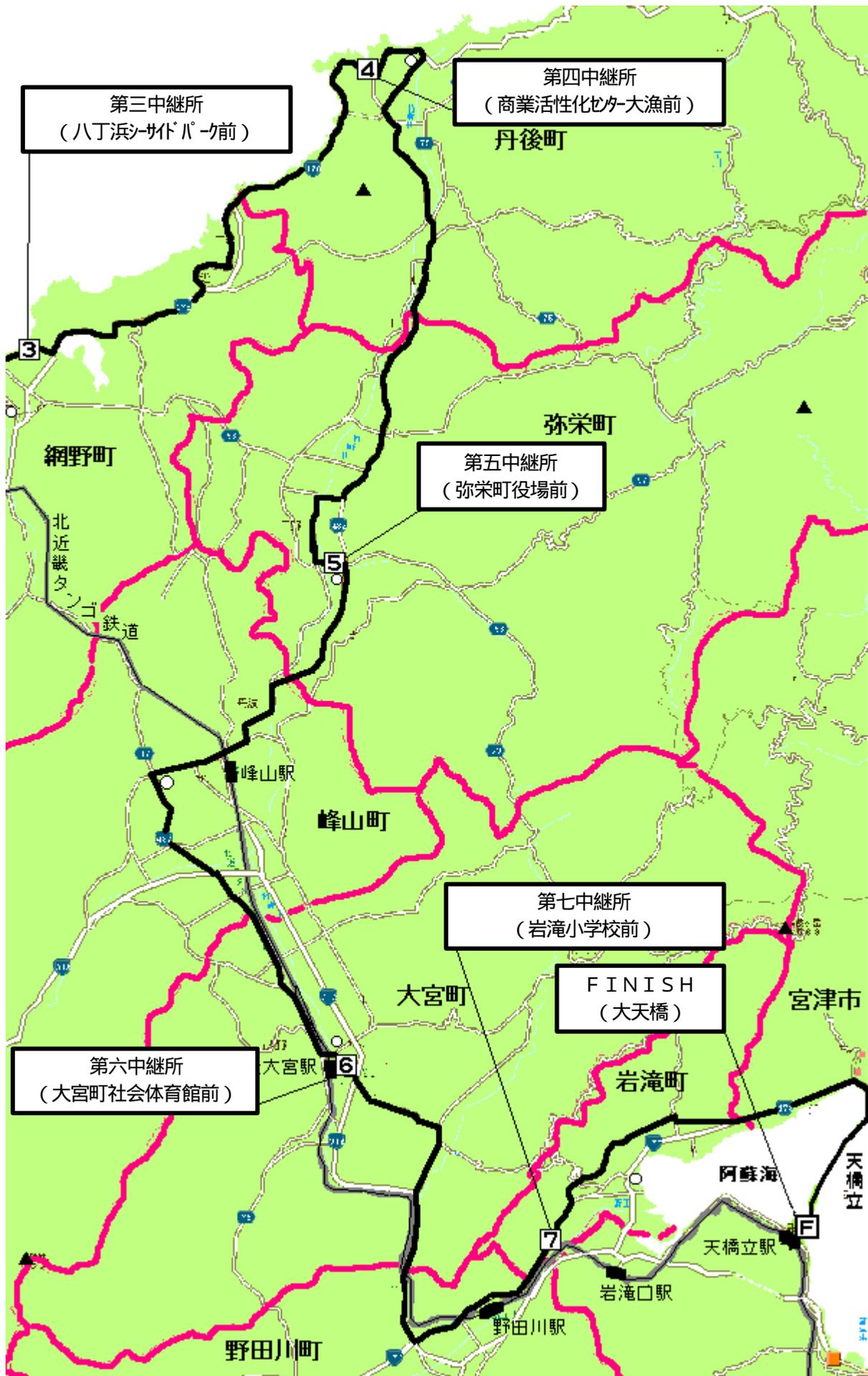
関西学生駅伝 コースマップ



(C) ITOH Takahiro, 2000

区間距離

一区	8.3km	五区	13.0km
二区	5.8km	六区	12.4km
三区	10.4km	七区	11.0km
四区	9.9km	八区	8.6km

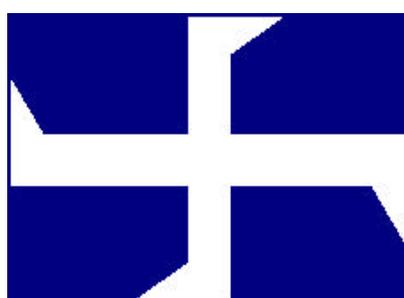


第38回 京阪神三大学対校 新人陸上競技大会 (11/2 太陽が丘)
優勝 京都大学 147点 2位 大阪大学 112点 3位 神戸大学 74点

100m				走高跳			
北垣 卓	2位	11.31	-1.9	田中 智弘	優勝	1.70	
藤井 章輔	4位	11.51	-1.9	油木 純一	3位	1.55	PB
200m				棒高跳			
北垣 卓	2位	22.65	+0.9	河村 和彦	3位	2.50	PB
藤井 章輔	4位	22.87	+0.9	森 一	4位	2.50	PB
400m				走幅跳			
村地 優樹	3位	51.73		杉本 昌大	優勝	6.66	+1.2
堀江 匠	4位	51.86		森 一	2位	6.21	+0.0
800m				三段跳			
磯島 弘	優勝	1.59.16		福山 大典	優勝	14.29	+1.1
水井 研吾	5位	2.06.79		垣畑 陽	2位	13.39	+0.3
1500m				砲丸投			
西村 好康	優勝	4.03.99		竹村 顕大朗	優勝	11.39	
内田 翔	5位	4.25.41		河村 和彦	2位	10.31	
5000m				円盤投			
西村 好康	優勝	15.21.26		河村 和彦	優勝	33.26	PB
宮木 貴志	6位	16.19.91		垣畑 陽	2位	26.05	
110mH				ハンマー投			
尾崎 禎亮	優勝	15.60	+0.1	河村 和彦	優勝	38.85	
福山 大典	3位	17.37	+0.1	木村 克也	2位	32.43	PB
400mH				やり投			
尾崎 禎亮	2位	58.36		松田 俊	2位	43.86	
油木 純一	5位	66.12		真鍋 文朗	6位	32.50	
4×100mR							
瀬々井-藤井章-松井-北垣	2位	42.87					
4×400mR							
堀江-藤井章-北垣-村地	2位	3.25.39					

第9回 京阪神三大学 女子陸上競技大会 (11/2 太陽が丘)
優勝 神戸大学 39点 2位 京都大学 27点 3位 大阪大学 4点

100m				走高跳			
北川 佳奈	2位	14.38	-1.7	滝上 伸子	2位	1.25	PB
滝上 伸子	3位	14.84	-1.7	走幅跳			
800m				北川 佳奈	2位	4.62	+0.8
山下 里絵	3位	2.36.24	PB	滝上 伸子	3位	4.11	+0.3
岩瀬 祥子	4位	2.39.54		やり投			
3000m				北川 佳奈	2位	22.43	PB
中村奈都子	3位	11.52.72		岩瀬 祥子	3位	20.75	PB
溜 宣子	5位	12.48.13					
4×100m							
滝上-北川-岩瀬-溜	優勝	57.81					



蒼穹ニュース 平成14年度 第7号

平成14年11月10日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：岩瀬祥子・真鍋文朗・大崎友数・北垣卓・田中齊太郎（副務）

特別協力：森一ノ田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）

佐藤章徳（記録係）・背戸和寿（HP係）

写真担当：垣畑陽・菅原健志・村地優樹

陸上競技部 HP <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360>

蒼穹ニュース HP <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/2360/soukyu.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス cqs02404@nifty.com（田中）

体育会のサーバーが復旧するまで、上記のアドレスにホームページを移動していません。ご注意ください。